

Dumela!

ボツワナへようこそ

ボツワナへようこそ。アフリカ南部の多彩な自然環境に恵まれたボツワナでは、透明度の高い水を湛えたオカバンゴ湿地帯や、過酷な自然のカラヒリ砂漠、中部カラヒリにある灼熱の塩低地、多くの野生動物が生息するチョベ国立公園など、さまざまな顔を持った自然を体験することができます。ボツワナでは、広大な川をはじめ、手つかずの雄大なアフリカの自然をたっぷり満喫していただけることでしょう。



600種類もの鳥を観察できます。

石器時代からの長い歴史を持つボツワナは、考古学の宝庫でもあります。これまでに、2000か所以上の遺跡が確認されていますが、このうち、発掘作業が行われた遺跡は100か所を数えるにすぎません。ボツワナのいたる地方、特にツォディロ・ヒルでは、岩の表面に描かれた繊細な古代絵を見ることができ、その歴史は今もサン族（ブッシュマン）によって受け継がれています。

政情の安定したボツワナでは、海外からの観光客も安心して旅行することができます。その一方で、ボツワナ政府は将来の世代へと引き継ぐために、自然環境の維持を考慮して、野生動物や環境の保護対策にも力を入れています。このため、国では質の高いツーリズムに重点をおいており、各地に最高級のサファリ・ロッジやキャンプ施設が整っています。サファリも快適に楽しむことができ、特別な旅の思い出を心に刻んでいただけます。

ボツワナは、ドイツの面積に相当する、国土の3分の1（37%）以上が野生動物保護区に指定されており、国によって自然環境の管理・保全が行われています。

ボツワナには、開拓の手が入っていない野生の王国が広がっています。象の群れはアフリカ最大の頭数を誇り、ライオン、チーター、豹など、さまざまな大型動物も見られます。また、黒いたてがみを持つライオンや、野生の犬などの珍種も生息し、さらにオカバンゴからチョベ運河、リニャンティ、オカバンゴ川にかけての地域では、



Discover Botswana 2003

観光スポット



ボツワナには、質の高い観光サービスが整っています。最高級のロッジやホテル、キャンプ施設などが整っているほか、セルフ・ドライブ・サファリやキャンプなども可能です。オカバンゴ湿地帯の沼沢地や、カラヒリ砂漠の原生自然、チョベ国立公園に生息する多くの野性動物など、ここではボツワナでしか体験できない主な観光ポイントをご紹介します。

オカバンゴ湿地帯

オカバンゴ湿地帯は、世界で最も大きい内陸河川の三角洲で、ボツワナの最大の観光スポットです。水と大平原が織りなす神秘的な空間、森、サバンナの景観は息をのむほどで、ありとあらゆる動物や鳥が生息しています。多くのキャンプ施設やロッジではモロコ・カヌーによる水上ツアーを実施しており、アフリカのコバルトブルーの空の下で水辺の豊かな自然をお楽しみいただけます。日中は鏡のように静かな水面の上で自然を探検し、夜はキャンプサイトやロッジにさまよいこんだ動物の気配を感じることができます。オカバンゴには、象、キリン、インパラ、チーター、ライオン、ワニ、イボイノシシなど、さまざまな哺乳動物が生息するモレミ野生動物保護区も含まれており、空には鳥が舞い、アシやパピルスなどの葉陰には、小動物が走り回る姿をかいま見ることもできます。

カラヒリ砂漠

カラヒリ砂漠は、ボツワナ中部から南部にかけて国土の4分の3以上の広大な地を占める原野です。厳密には本来の砂漠ではなく、灌木の叢やサバンナ、森林などを持つ半乾燥地帯で、特異な環境に順応したさまざまな動物や植物が繁殖しています。バオバブの木の下には真っ白な塩低地が広がり、多くの野生動物が生息するサバンナには原住民サン族の遺跡や現在の居住地も見られます。カラヒリ砂漠には、中央カラヒリ野生動物保護地区、クガラガディ・トランスフロンティア国立公園、クツェ野生動物保護区、マカリカリ塩低地国立公園の、4つの主要な保護区があります。

クガラガディ・トランスフロンティア国立公園

2000年に開園したクガラガディ・トランスフロンティア国立公園は、国境を越えて南アフリカ共和国のゲムズボック国立公園とひとつにつながっており、ボツワナと南アフリカが共同でひとつの生態系として管理しています。この公園は、表情の豊かな景観、広大な草原、



さまざまな色に変化する砂丘などが広がっており、砂丘には乾燥した環境に順応した多種多様な動物を見ることができます。以前はボツワナ側からの入り口がなく、現在も不自由ではありますが、カケアとウェルダ間を結ぶ道や、南側のツシャボング、北側のツシャネなどからアクセスできるようになっています。

マカリカリ塩低地国立公園

マカリカリ塩低地国立公園は、古代巨大湖の名残で、1万平方メートル以上が塩で覆われた地域です。周囲には椰子の木が生い茂る大草原が広がっており、年の始めの雨季に氾濫したあとは、乾いた砂漠にも緑がよみがえり、たくさんの

水鳥たちが浅い水辺に集まってきます。フラミンゴやペリカンは塩分を含む水辺に群れ、平原の動物たちは新鮮な草を食みに集まってきます。広大な面積を占めるナクサイ塩低地も、かつて中部ボツワナを覆っていた古代巨大湖の一部で、大部分は塩ではなく、草原となっています。毎年、12月以降の雨季には、大型の動物も数多く集まってきます。

チョベ

ボツワナの北東部に位置するチョベは、大型動物が数多く生息し、サファリの名所として知られています。5か国が国境を接するカズングラに近いカサネから、南西部はモレミ保護区までの一帯を占め、

アフリカで最も多くの象をはじめとする大型動物が繁殖し、壮大な群れの移動も見られます。チョベは、サブティ湿地帯、リニャンティ低湿地、セロンデラの平原と森林地帯、そして川辺の草原地帯の、それぞれに異なる自然環境を持つ4つの地域に分かれています。毎年、サブティからチョベにかけてシマウマの群れが移動する時期には、ライオンやチーター、野生の犬などがその群れを狙う光景が見られます。また、チョベ川の観光クルーズでは、さまざまな種類の動物や鳥を観察することもできます。

チュリ地区

ボツワナの東の端に位置するチュリ地区は、その大部分が民間の租借地で、観光客は保護区に生息する動物や鳥、景観について専門のガイド・サービスを利用できます。チュリ地区には、国境近くの地域に特有の興味深い歴史や、特異な地理学的特徴があります。ソロモンの壁、ツワボング、レボコレの丘には、サン族の祖先が残した美しい岩絵を数多く見ることができます。

ハボローネ

ボツワナの首都ハボローネは、空港や国内の主な観光地などへの交通機関の中心地であり、近代的なホテルや高級レストランなどのほか、カジノ、ゴルフ・コースなどもあります。歴史も古く、さまざまな観光スポットがあります。ハボローネ野生動物保護区は、規模は小さいものの、ボツワナで最も多くの入場者を誇り、モコロディ動物保護区では象といっしょに歩いたり、飼ならされたチーターに触ったりして、動物たちと触れ合うことができます。

マウン

マウンは、オカバンゴ湿地帯やモレミ野生動物保護区の玄関口となる国境の町で、サファリの世界へ向かう前に食料や道具を仕入れることができます。歴史の古いライリー・ホテルや、キャンプ、ロッジなどの宿泊施設もそろっています。

トラベル・データ



空路

ボツワナへの空路は、南アフリカのヨハネスバーグ経由が最も便利です。ヨハネスバーグからハボローネへは1日数便が運航しており、マウンやカサネへの定期便もあります。また、ナミビアの首都ウィントフークや、ジンバブエの首都ハラレへの定期便もあります。ヨーロッパからハボローネへの直行便はありません。

陸路

国境を接する近隣諸国からボツワナへの道路はすべて舗装されています。南アフリカからハボローネや主要観光地へも幹線道路が敷かれています。国境検問所は夜間は閉鎖しています。ボツワナ国内の主要道路はすべて舗装されており、自動車で快適に移動できます。ただし、狭い道路は舗装されていないことが多いので、特に雨季(9月～4月)はぬかるみなどに注意してください。また、一部の地域ではガソリンの供給が困難な状況になっています。セルフ・ドライブ・サファリには、飲料水、ガソリン、食料などを積んだ四輪駆動車をお勧めします。

ビザ

欧州連合(EU)および米国からの旅行者にはビザは不要です。その他の国からの旅行者は、ボツワナ大使館または領事館にご確認ください。

気候

夏は10月～3月、雨季は9月～3月です。夏の最高気温は40℃を超えます。12月～1月が最も雨の多い時期で、降水量の最も多い地域は北東部のチヨベ(650mm)、最も少ない地域は南西部です。

服装

快適でカジュアルな服装をお勧めします。日中は非常に暑くなるため、帽子が必要です。一部の地域では夜間かなり冷え込むため、フリース、セーター、コートなどを持っていくと便利です。蚊除けのため長袖を着用することをお勧めします。鮮やかな色や白い服は動物を興奮させるため、サファリにはお勧めできません。日焼け止めクリーム、虫除けスプレー、サングラスは必須です。

保健衛生

マラリアは、特にボツワナ北部で発症率が高く、また最近の蚊は薬品への抵抗力を強めているため、深刻な問題となっています。渡航前に医師の診察を受け、ボツワナへ入る最低1週間前から医師に処方されたマラリア感染防止薬の服用を始めてください。また、破傷風と腸チフスの予防接種も受けておいてください。ボツワナにはビルハルツ住血吸虫の危険もあるため、消毒処理されていない水に入ったり泳ぐことは避けてください。

い。また、アフリカの他の諸国と同様に、ボツワナでもAIDS(後天性免疫不全症候群)が高い発症率を示していることに注意してください。都市部の水道水は安全ですが、その他の地域では必ず飲料水の安全性を確認してください。

通貨

1 プラ(Pula) = 100 テーベ(Thebe)。ボツワナでは外貨規制を実施していないため、ホテルやロッジ、旅行代理店、大型の商店などでは、国際的なクレジットカードやトラベラーズチェックを使えます。

公営のキャンプサイト

国立公園内に宿泊する場合は、野生生物国立公園省にあらかじめ予約する必要があります。

Tel: 661 265

Fax: 661 264

ボツワナ環境野生生物観光省

観光局

Private Bag 0047, Gaborone,

Tel: +267 395 3024

Fax: +267 390 8675

メール: botswanatourism@gov.bw

Webサイト:

<http://www.botswana-tourism.org>

ボツワナ共和国大使館

〒108-0014

東京都港区芝4-5-10

カーニー・プレイス芝ビル6階

Tel: (03) 5440 5676

Fax: (03) 5765 7581

メール: botjap@sepia.ocn.ne.jp

近畿日本ツーリスト株式会社

クラブツーリズム事業本部

〒160-8308

東京都新宿区西新宿6-3-1

新宿アイランドウイング

Tel: (03) 5998 1612

Fax: (03) 5998 5399

メール:

makoto.akai@club-tourism.co.jp